

自衛隊神奈川地方協力本部

進路説明会

神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 大里3海佐）は、11月19日（木）、神奈川県立横須賀明光高等学校で行われた進路説明会に参加した。

本説明会は、高校2年生に対して行われ、各企業・学校ごとにブースが設けられ、生徒自身が進路希望先の概要や試験対策などを確認するものである。

集まったのは、皆習年度の試験を見込んでいる熱心な生徒たちで、採用試験の厳しさや現状を説明し、翌年度の試験に備える旨の説明を行うことができた。また募集開始時に再会することを約束し、有意義な説明会となった。

横須賀地域事務所は、「今後も、入隊希望者が受験に向けて不安なく進めるように一人ひとりと親身になって応援していく」としている。

募集相談員会部隊研修支援

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 宮山2陸尉）は、11月24日（火）から25日（水）の間、「航空自衛隊松島基地」及び「陸上自衛隊多賀城駐屯地」において自衛官募集相談員5名の部隊研修を支援した。

研修初日は、松島基地を研修し、格納庫において「ブルーインパルス」を見学。ブルーインパルスを目の前にした瞬間歓喜の声が上がった。翌日は、多賀城駐屯地を訪問、部隊の概要説明と多賀城駐屯地部隊で行った東日本大震災救助活動等のDVDを鑑賞した。その後の体験喫食では、「おいしい、おいしい」という感想が、多数聞かれた。

今回の研修で、東日本大震災の被害を受けた航空基地及び駐屯地隊員による震災時の生の声を聞くことができ、改めて災害の恐ろしさや災害時の自衛隊の活動等について再認識し、今後の募集協力を活かしていきたいと話していた。

横浜中央募集案内所は、「今後も、募集相談員会と連携を図り、国防の重要性や自衛隊の必要性に理解を深めていきたい」としている。



ブルーインパルスの前で



多賀城駐屯地での体験喫食

清川村民生委員が座間駐屯地を研修

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井1海尉）は、11月26日（木）、座間駐屯地において清川村民生委員10名の部隊研修を支援した。

同じ神奈川県内の駐屯地ではあるが、参加者のほとんどが初めて入門したため大変興味深く研修していた。始めの資料館見学及び概要説明では、「隊員は体力向上するためどのような訓練を行っているのですか?」「転勤は多いですか?」などたくさん質問があった。また、駐屯地周辺には旧大日本帝国陸軍士官学校関係の歴史的石碑等が数多くあり、「歴史と伝統を感じることができた」との感想があった。

厚木募集案内所は、「今後も、地域の理解と協力の重要性を深く認識し、防衛基盤の拡充に努めるとともに、募集に繋げるよう尽力していく」としている。



資料館で説明を受ける
清川村民生委員



昭和20年、地中に埋められた
「相武台」記念碑